平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場会社名　昭和産業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2004　URL　http://www.showa-sangyo.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岡田　茂
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長　(氏名) 大柳　奨　TEL 03-3257-2182

四半期報告書提出予定日　平成25年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	121,978	9.7	4,937	26.6	5,450	26.9	3,867	49.4
25年3月期第2四半期	111,238	△1.6	3,900	0.6	4,293	△1.3	2,589	△1.5

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　4,431百万円　(93.2%)　25年3月期第2四半期　2,293百万円　(△17.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	23.70	―
25年3月期第2四半期	15.72	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	153,339	61,343	38.3
25年3月期	152,926	58,620	36.5

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　58,789百万円　25年3月期　55,766百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	8.00	8.00
26年3月期	―	0.00			
26年3月期(予想)			―	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
平成25年3月期期末配当金の内訳　普通配当 7円00銭　特別配当 1円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	5.2	8,500	6.0	8,800	1.1	5,000	6.8	30.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	164,849,898 株	25年3月期	164,849,898 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,700,446 株	25年3月期	1,683,731 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	163,157,946 株	25年3月期2Q	164,729,088 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。
なお、業績予想に関する事項は添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… ２
（１）経営成績に関する説明 …… ２
（２）財政状態に関する説明 …… ４
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… ４
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… ４
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… ４
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… ４
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… ４
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… ４
４．四半期連結財務諸表 …… ５
（１）四半期連結貸借対照表 …… ５
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… ７
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… ７
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… ８
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… ９
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……１０
（継続企業の前提に関する注記） ……１０
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……１０
（セグメント情報等） ……１０

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間の我が国経済は、政府のデフレ脱却に向けた財政・金融政策への期待感から景況感に改善の兆しは見られたものの、海外経済減速の影響により、景気は先行き不透明な厳しい状況が続きました。

食品業界におきましても、依然高値圏で推移する原料穀物相場や急速な円安の影響による原料調達コストの高騰に加え、消費者の節約志向や低価格志向の継続という厳しい環境にありました。

このような状況の中、当社グループは、2012年（平成24年）よりスタートした「中期経営計画12－16」の６つの基本戦略「①基盤事業の持続的成長」「②新たな分野への挑戦」「③海外事業の強化」「④効率化の推進」「⑤グループ連携の強化」「⑥ＣＳＲ経営の推進」の下、具体的な施策の推進に努めてまいりました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は121,978百万円と前年同期に比べ10,740百万円（9.7%）の増収となりました。営業利益は4,937百万円と前年同期に比べ1,036百万円（26.6%）の増益、経常利益は5,450百万円と前年同期に比べ1,156百万円（26.9%）の増益、四半期純利益は3,867百万円と前年同期に比べ1,277百万円（49.4%）の増益となりました。

セグメント別の概況

①製粉事業

業務用小麦粉の販売数量につきましては、新製品の投入や提案型の営業活動を展開したことにより、前年同期を上回りました。販売価格につきましては、輸入小麦の政府売渡価格が本年４月に平均9.7%引き上げられたことを受け、小麦粉製品の価格改定を本年６月に実施しました。

これらの結果、製粉事業の売上高は29,597百万円と前年同期に比べ115百万円（0.4%）の増収、営業利益は1,627百万円と前年同期に比べ419百万円（34.8%）の増益となりました。

②油脂事業

業務用食用油の販売数量につきましては、新製品の投入や顧客ニーズを捉えた営業活動を展開したことにより、前年同期を上回りました。業務用食材の販売数量につきましては、中食市場や外食市場などへの営業活動を強化したことにより、前年同期を上回りました。販売価格につきましては、高値圏で推移した原料穀物価格の影響を反映した結果、前年同期を上回りました。

これらの結果、油脂事業の売上高は29,913百万円と前年同期に比べ4,263百万円（16.6%）の増収、営業利益は1,420百万円と前年同期に比べ432百万円（43.8%）の増益となりました。

③ぶどう糖事業

糖化製品の販売数量につきましては、加工食品メーカー向けの販売数量が好調に推移したことなどにより、前年同期を上回りました。コーンスターチの販売数量につきましては、積極的な営業活動を展開したことにより、前年同期を上回りました。販売価格につきましては、穀物相場の影響により、前年同期を上回りました。

これらの結果、ぶどう糖事業の売上高は19,296百万円と前年同期に比べ1,909百万円（11.0%）の増収、営業利益は1,497百万円と前年同期に比べ155百万円（11.6%）の増益となりました。

④家庭用食品事業

家庭用食用油の販売数量につきましては、消費低迷の影響などにより、前年同期を下回りました。家庭用プレミックスの販売数量につきましては、積極的な販促活動に努めた結果、前年同期を上回りました。販売価格につきましては、消費者の低価格志向の影響などにより、一部の製品では価格改定が進みませんでした。

これらの結果、家庭用食品事業の売上高は11,160百万円と前年同期に比べ407百万円（3.5%）の減収、営業損失は28百万円と前年同期に比べ175百万円の減益となりました。

⑤飼料事業

配合飼料の販売数量につきましては、養鶏用飼料の販売数量が増加したことにより、前年同期を上回りました。鶏卵の販売数量につきましては、消費低迷の影響などにより、前年同期を下回りました。配合飼料の販売価格につきましては、穀物相場の影響により、前年同期を上回りました。鶏卵の販売価格につきましても、鶏卵相場の上昇により、前年同期を上回りました。

これらの結果、飼料事業の売上高は29,366百万円と前年同期に比べ4,622百万円（18.7%）の増収、営業利益は78百万円と前年同期に比べ74百万円（1,526.6%）の増益となりました。

⑥倉庫事業

倉庫事業につきましては、貨物獲得競争が激化する中、商社や主要顧客との取り組みを強化し、荷役量の増加に努めたことにより、売上高は前年同期を上回りました。

これらの結果、倉庫事業の売上高は1,524百万円と前年同期に比べ57百万円（3.9%）の増収、営業利益は360百万円と前年同期に比べ55百万円（18.3%）の増益となりました。

⑦不動産事業

不動産事業につきましては、オフィス用賃貸ビルの賃料収入は一部テナントが退去したことにより、前年同期をやや下回りました。商業施設用ビルの賃料収入は平成25年４月からショーサン上尾ビル（埼玉県上尾市）の賃貸を開始したことにより、前年同期を上回りました。

これらの結果、不動産事業の売上高は1,001百万円と前年同期に比べ191百万円（23.7%）の増収、営業利益は542百万円と前年同期に比べ63百万円（13.2%）の増益となりました。

⑧その他事業

保険代理業、自動車等リース業、運輸事業等をあわせたその他事業の売上高は117百万円と前年同期に比べ13百万円（10.1%）の減収、営業利益は17百万円と前年同期に比べ14百万円（46.2%）の減益となりました。

（２）財政状態に関する説明

総資産は、153,339百万円と前連結会計年度末と比較して412百万円増加しております。主な増加要因は、たな卸資産が在庫数量の増加などにより3,749百万円増加したこと、投資有価証券が892百万円増加したことであります。一方、主な減少要因は、売上債権が3,741百万円減少したことであります。

負債は、91,995百万円と前連結会計年度末と比較して2,309百万円減少しております。主な減少要因は、買掛債務が3,294百万円減少したことや、設備関係債務が586百万円減少したことであります。一方、主な増加要因は、有利子負債が2,369百万円増加したことであります。

純資産は、61,343百万円と前連結会計年度末と比較して2,722百万円増加しております。主な要因は、四半期純利益3,867百万円の計上による増加、期末配当金の支払による1,305百万円の減少であります。

（連結キャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益5,684百万円、減価償却費3,440百万円等による資金の増加がありましたが、法人税等1,688百万円の支払等があった結果、合計では2,430百万円の収入となり、前年同期に比べ3,812百万円収入が減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得で3,393百万円の資金を使用した結果、合計では3,825百万円の支出となり、前年同期に比べ1,163百万円支出が増加しました。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、フリー・キャッシュ・フローの不足分及び配当金の支払額1,305百万円等をコマーシャル・ペーパーの発行等により賄った結果、1,030百万円の収入となり、前年同期に比べ4,533百万円収入が増加しました。

以上の結果、当第２四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は2,108百万円となり、前連結会計年度末に比べ364百万円の減少となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第３四半期以降も為替や穀物の相場動向など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、平成25年５月14日に公表した平成26年３月期（平成25年４月１日～平成26年３月31日）の連結業績予想につきまして変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,474	2,108
受取手形及び売掛金	39,136	35,394
商品及び製品	7,923	9,092
仕掛品	1,162	1,725
原材料及び貯蔵品	16,983	19,001
その他	2,644	2,701
貸倒引当金	△320	△283
流動資産合計	70,004	69,739
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,037	28,760
機械装置及び運搬具（純額）	15,364	15,777
土地	17,880	17,878
その他（純額）	3,044	1,415
有形固定資産合計	64,326	63,832
無形固定資産		
のれん	76	55
その他	1,521	1,523
無形固定資産合計	1,597	1,578
投資その他の資産		
投資有価証券	14,759	15,651
その他	2,336	2,790
貸倒引当金	△97	△255
投資その他の資産合計	16,997	18,187
固定資産合計	82,922	83,599
資産合計	152,926	153,339
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,675	20,381
短期借入金	22,456	23,289
コマーシャル・ペーパー	7,500	10,000
1年内償還予定の社債	30	－
未払法人税等	1,841	1,872
賞与引当金	1,127	1,108
課徴金引当金	718	－
資産除去債務	－	1
その他	14,210	13,220
流動負債合計	71,559	69,875

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年９月30日)
固定負債		
長期借入金	9,165	8,232
退職給付引当金	6,503	6,577
役員退職慰労引当金	236	186
資産除去債務	259	244
負ののれん	6	3
その他	6,574	6,877
固定負債合計	22,745	22,120
負債合計	94,305	91,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,778	12,778
資本剰余金	4,710	4,710
利益剰余金	35,541	38,102
自己株式	△481	△486
株主資本合計	52,547	55,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,116	3,658
繰延ヘッジ損益	102	27
その他の包括利益累計額合計	3,218	3,685
少数株主持分	2,854	2,553
純資産合計	58,620	61,343
負債純資産合計	152,926	153,339

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日)
売上高	111,238	121,978
売上原価	91,366	100,916
売上総利益	19,871	21,062
販売費及び一般管理費	15,970	16,124
営業利益	3,900	4,937
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	137	144
為替差益	80	79
負ののれん償却額	3	2
持分法による投資利益	200	252
その他	228	243
営業外収益合計	654	727
営業外費用		
支払利息	211	181
コマーシャル・ペーパー利息	5	3
その他	43	29
営業外費用合計	261	215
経常利益	4,293	5,450
特別利益		
固定資産売却益	10	7
投資有価証券売却益	6	18
負ののれん発生益	0	158
退職給付制度改定益	－	395
特別利益合計	17	580
特別損失		
固定資産廃棄損	108	209
固定資産売却損	2	3
減損損失	34	25
課徴金	－	33
関係会社出資金評価損	－	64
投資有価証券評価損	8	1
その他	11	10
特別損失合計	164	346
税金等調整前四半期純利益	4,146	5,684
法人税、住民税及び事業税	1,608	1,724
法人税等調整額	△122	15
法人税等合計	1,485	1,740
少数株主損益調整前四半期純利益	2,661	3,943
少数株主利益	71	76
四半期純利益	2,589	3,867

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,661	3,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△307	523
繰延ヘッジ損益	△51	△76
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	41
その他の包括利益合計	△367	487
四半期包括利益	2,293	4,431
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,220	4,333
少数株主に係る四半期包括利益	72	97

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,146	5,684
減価償却費	3,520	3,440
減損損失	34	25
負ののれん発生益	△0	△158
退職給付制度改定益	―	△395
関係会社出資金評価損	―	64
売上債権の増減額（△は増加）	278	3,606
たな卸資産の増減額（△は増加）	△8	△3,749
仕入債務の増減額（△は減少）	859	△3,294
その他	△31	△501
小計	8,800	4,720
利息及び配当金の受取額	280	294
利息の支払額	△207	△182
法人税等の支払額	△2,604	△1,688
法人税等の還付額	4	3
課徴金の支払額	―	△718
災害損失の支払額	△30	―
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,242	2,430
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△1
定期預金の払戻による収入	2	2
投資有価証券の取得による支出	△16	△18
投資有価証券の売却及び償還による収入	23	74
子会社株式の取得による支出	△5	△239
有形固定資産の取得による支出	△2,493	△3,393
有形固定資産の売却による収入	14	12
有形固定資産の除却による支出	△55	△69
資産除去債務の履行による支出	△10	△14
投融資による支出	△186	△225
投融資の回収による収入	65	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,662	△3,825
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△60	△30
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額（△は減少）	△1,000	2,400
長期借入れによる収入	300	1,500
長期借入金の返済による支出	△1,562	△1,500
リース債務の返済による支出	△24	△28
配当金の支払額	△1,153	△1,305
自己株式の取得による支出	△1	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,502	1,030
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	77	△364
現金及び現金同等物の期首残高	2,523	2,473
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,600	2,108

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							
	製粉事業	油脂事業	ぶどう糖事業	家庭用食品事業	飼料事業	倉庫事業	不動産事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	29,482	25,649	17,386	11,567	24,743	1,466	810	111,107
セグメント間の内部売上高又は振替高	154	873	1,025	595	4	656	46	3,354
計	29,636	26,523	18,411	12,162	24,747	2,122	856	114,462
セグメント利益	1,207	988	1,341	146	4	304	478	4,472

(単位：百万円)

	その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
売上高				
外部顧客への売上高	130	111,238	―	111,238
セグメント間の内部売上高又は振替高	762	4,117	△4,117	―
計	893	115,355	△4,117	111,238
セグメント利益	32	4,504	△603	3,900

(注)１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業、自動車等リース業、運輸事業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△603百万円には、セグメント間取引消去△３百万円、全社費用△600百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない企業集団の広告に要した費用、基礎的研究開発費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							
	製粉事業	油脂事業	ぶどう糖事業	家庭用食品事業	飼料事業	倉庫事業	不動産事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	29,597	29,913	19,296	11,160	29,366	1,524	1,001	121,860
セグメント間の内部売上高又は振替高	158	1,141	1,138	504	2	637	114	3,698
計	29,755	31,055	20,435	11,665	29,369	2,161	1,116	125,559
セグメント利益又は損失(△)	1,627	1,420	1,497	△28	78	360	542	5,497

(単位：百万円)

	その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
売上高				
外部顧客への売上高	117	121,978	―	121,978
セグメント間の内部売上高又は振替高	727	4,426	△4,426	―
計	845	126,404	△4,426	121,978
セグメント利益又は損失(△)	17	5,515	△577	4,937

(注) １　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業、自動車等リース業、運輸事業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△577百万円には、セグメント間取引消去△６百万円、全社費用△571百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない企業集団の広告に要した費用、基礎的研究開発費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

子会社株式の追加取得により、負ののれん発生益158百万円を計上しておりますが、各報告セグメントには配分しておりません。